

**教科目名 資格英語 (English for Qualifications )**

学科名・学年 : 全学科 4年

単位数など : 選択 2単位 (前期2コマ, 後期2コマ, 学習保証時間 45.0時間)

担当教官 : 大木正明

<b>授業の概要</b> 3年生までに学んだ英語力を最大限に利用し、「読む」および「聴く」能力をさらに育成するための講義である。講義は能力育成のため演習形式を取るが、形としては英検取得およびTOEIC試験のスコアアップのための問題解答及び解説が主な内容となる。		
<b>到達目標</b>		<b>大分高専目標 (C2), JABEE 目標(f)</b>
(1) これまでに学んだ英語に関する基礎力を増す。 (2) 授業の各項目に関連した単語・熟語について知見を深め、理解する。 (3) 「読む」および「聴く」能力に必要な技術を学び、それを資格試験に生かせるまで学習する。 (4) 演習問題を通して理解を深めるとともに、継続的な学習ができるようにする。		
回	授 業 項 目	内 容
1 2~4 5~8	はじめに 写真問題 質疑応答問題	英検・TOEFL・TOEIC についての説明, および簡単な試験・リスニング問題, 特に写真問題を解き簡単な会話を理解する。ワンセンテンスの質問に対して迅速に英語で答える訓練。
9~11	会話問題	二人の人物(通常, 女性と男性)の簡単な会話を聞き, 即座に聞き分け内容を把握する訓練。
12 ~ 15	説明文問題	20秒から50秒ほどの次官で流される説明文を聞き取り, 内容を把握する訓練。
16~ 19	文法問題	品詞からはじまる様々な文法問題を実際に解きながら, 英文の構造を性格に理解する訓練。これは「書く力」「話す力」とも密接に関係するため徹底的に行う予定。
20 ~ 23	正誤問題	ネイティブさえもよく間違える個所を徹底分析し, 「文法」「構文」「語感」の観点から様々な間違いの例を提示する。
24 ~ 27	文章問題	雑誌や新聞, あるいは広告の一部等から取られた文章をすばやく読み取る訓練。この際, 重要となるスキミングやスキニングといった技術を出来る限り習得する演習を行うが, 同時に英文の「量」も英語の上達のかぎを握ることから出来るだけたくさん英文を消化する。
28 ~ 30	模擬テスト	28回はリスニングの模擬テスト。29回はリーディングの模擬テスト。30回は資格試験の総まとめとしてリスニング及びリーディングのテストを行う。もちろん解説も行う予定。
履修上の注意		毎日が真剣勝負である。特に復習には全力をあげて取り組むこと。理想としては英検2級, TOEICのスコアが400点, というのが目標である。
教科書	木村哲夫ら, 「5 - Minutes Quizzes for Toeic - Listening」, マクミラン・ランゲージ・ハウス。	
参考図書		
関連科目	英語	
評価方法	一年に5回行う小テスト(50%)に TOEIC 450点以上(50%)を加算して評価する。	